

台間ボードの悩みをすべて解決!

台間収納型 パーテーションボード **トリプル&ハーフボード**

台の入替時に取り外し不要!なのに充分なパーソナルスペースを確保
えっ、台間ボードで業務を効率化できる!?
 設備機器メーカーの(株)ゼウスが取り扱う多数の「台間ボード」のなかでも、パチンコホールの現状に最も合致するものとしてスタンダードになっている「トリプル&ハーフボード」。改めてその魅力に迫ってみたい。



三段式での収納時の出幅はわずか30mmを実現。引出時は最大515mmと飛沫感染対策として十分な効果を発揮する。

悩み①
 台の開閉時や入替時のジャマになる

ボード収納時「出幅わずか30mm」で干渉しづらい!

【上から見たイメージ】



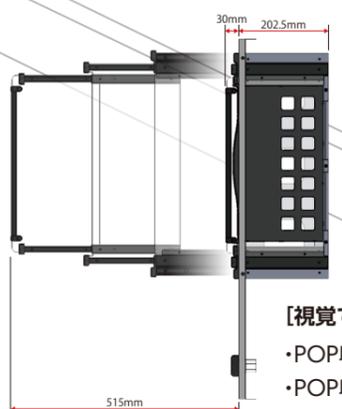
悩み②
 飛沫対策をちゃんとできる出幅にしたい

三段式(トリプル)で「出幅最大515mm」を実現!



悩み③
 離着席時に肘置きなどがボードに当たってしまう

ボード下部カット(ハーフ)で快適性を向上!



【視覚での安心感】
 ・POP収納有り: 50mm巾
 ・POP収納無し: 40mm巾

台間収納型 パーテーションボード

トリプル&ハーフボード

ウイスコロナ・アフターコロナ時代を迎えている一方、今年の夏以降、再び新型コロナウイルスが全国的にまん延。不特定多数の人が集まる施設として、パチンコホールの感染対策は依然として気を抜けない状況だ。そんなホールの感染対策として「基本中の基本」が台間ボードだが、常設のデメリットとして、台の入替時に邪魔になり、人手不足も深刻化するなかで業務の負荷が増す要因にもなっている。

「究極」の仕様

ゼウスの数あるラインナップのなかでも、来店客にとっての「安全・安心の確保」はもとより、「快適性の向上」、さらにはホールにとっての「業務効率」まで考慮した「究極の台間ボード」が、台間収納型の「トリプル&ハーフボード」だ。その理由として、以下3つの特長が挙げられる。

- ① 台間ボード収納時の出幅は「わずか30mm」を実現
 収納時のボード出幅が「わずか30mm」で、台開閉時や入替時に邪魔になったり傷つけてしまう不安を解消する。
- ② 三段式(トリプル)で出幅最大「515mm」を実現
 飛沫対策として望ましい出幅は一般的に500mmといわれるなか、三段式によって「最大515mm」を確保。簡易的ではない、適正な感染対策を実行できる。
- ③ ボードの下部をカットしたハーフ仕様
 台間幅の狭いホールなどで遊技客の離着席の際、体が当たってしまったったり肘置きが干渉してしまう課題に対して、ボード高の下部をカットして締めたいことで、離着席時の不便さを解消する。

USB・POP収納
 +オリジナル仕様も

標準仕様としてスマホ・加熱式タバコの充電に最適な「USBチャージャー」と「POP収納スペース」を搭載。さらに、国内の自社工場生産しているゼウスならではの強みとして、必要に応じて「ドリンクホルダー」などを追加したり、「部サイズの変更に対応する。同製品はすでに全国の強豪店を含む多数の導入実績があり、「遊技客の安全・安心と快適性」、そして「ホールの業務効率」を大幅アップする効果は折り紙付き。ぜひ検討すべき製品だろう。



ホール機器設備の企画・製造・販売
 株式会社ゼウス
 〒130-0026 東京都墨田区両国4-4-5
 FAX.03-5625-7790

TEL.03-5625-0510

ゼウス 台間 検索

